

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【2年生】

【 丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の概要 】

○本校2年生の全体的な状況（生活習慣状況調査より）

- どの項目においても肯定的な回答をしている生徒が多く、おおむね良好な結果が見られました。
- 「家族や友だち、先生など周りの人たちの支え」「愛されている」の設問に対しては、肯定率が非常に高いです。一方で、「周りの人の誰かに相談する」という設問については昨年度より若干低下しています。
- 「規範意識」や「学級の絆」の項目は、肯定率が高く、良好な学級環境ができつつあると感じます。昨年度より、「感動体験」や「他者からの評価」の肯定率が上昇していることが、背景として考えられます。
- 「学習」においては、勉強はがんばるが「発表」しないというように、自己表現が苦手なことがわかります。また、友だちとの会話や関わりに対しても、不安があるなど、「自己肯定感」に低さが見られます。
- 生活習慣、学習習慣は、概ね良好な結果でしたが、テレビやゲームの時間が1日3時間を超える生徒や、遅く寝るのが当たり前になっている生徒など、生活習慣に課題が見られる生徒もいました。

○各教科の課題と対応（市学力調査より）

国語

全体の正答率は、目標値や全国平均を上回り、良好な結果が見られました。これまでの学習の中で、身につけた成果であると考えます。今後の課題として、主に文学作品の読解問題において、登場人物の心情を捉えることや、書くことに関する作文問題が挙げられます。今後は、文学作品の内容を読み取ることを中心に学習を進めます。文脈を根拠に登場人物の心情の読み取りや、書く活動を増やし、自信を持って自分の意見が書けるようになるための練習をしていきたいです。

数学

全体の正答率は、目標値や全国平均を上回り、良好な結果が見られました。観点別正答率において、「数学的な技能」は、全国平均を大きく上回っていますが、「数学的な見方や考え方」に関しては全国平均を下回っている結果となりました。問題の題意を読み取り、数式化したり、図示したりする力や、自分の考えを適切に説明できる力をつけることに課題があるようです。今後は、単なる解法暗記で解答を導くのではなく、お互いに説明し合う場面を設定したり、文章問題を多く取り入れたりするなど、読み取りの練習をしていこうと考えています。

○保護者のみなさまへ

学年全体の雰囲気として、高い規範意識の中で生活できています。そのことが、学習面にも良い影響を与え、どの授業も落ち着いて学習し、意欲的に取り組んでいます。また、「家族はかけがえのない存在」「家族は気持ちをわかってくれる」などという項目においての肯定率が高く、家族から愛されていると感じ、しんどいことも受け止めてくれ、安心できる居場所であると感じていることがうかがえます。そして、学校でも、「つらかったとき、悔しかったときに、友だちから声をかけてもらったことがある。」「気持ちをわかろうとしてくれる先生がいる。」という項目で、そう感じている生徒がほぼ100%だったことから、多くの支えを感じていることがわかります。

一方で、本当に辛いことがあったとき、誰かに相談できる生徒が、昨年度より減少しています。これは、思春期特有の心の状態も作用していると考えられますが、相談しやすい環境を作るために、日ごろからの関わりを増やし、信頼関係をさらに築いていけるよう努めていきます。また、授業での発表や、友だちとの会話に不安を持っている生徒が多いです。こうした不安を解消するため、分かりやすい授業や質問しやすい雰囲気作りに努めます。また、学校生活や行事を通して、生徒が活躍する場や、周りから認められる経験をさらに積みながら、生徒一人一人の更なる成長につなげていきたいと考えています。規則正しい生活が、心身の健康に大きく関係します。今後とも、学校とご家庭が同一歩調で歩んでいけると幸いに感じます。